

地域パートナーとの連携による高付加価値事業の再構築

会社名 佐賀冷凍食品株式会社
 所在地 佐賀県小城市芦刈町芦溝128-3
 従業員 28名
 資本金 2,000万円
 売上高 非公表
 業種 冷凍食品(冷凍料理)の開発・製造(食品製造業)

支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 地域の生産者や飲食店、流通との連携により卸売業と製造業の相乗効果が最大限に発揮される事業を再構築して、新たなビジネスモデルによる高付加価値商品の開発や売り場づくり、物流・配送システムの構築を目指す。

支援を受けてできるようになったこと

After

- ビジネスモデルの整理及びアンテナショップ「かねすえキッチン」の開設とこれを核としたブランド・マーケティング戦略の策定により、新規顧客の獲得と新製品開発、企画を強化することが可能となった。

今後の事業展開の展望

Future

- 地域のパートナーとのコラボレーションによる新たな冷凍食品レシピの開発やブランド展開、売り場づくり等を進めて収益につなげる。
- 「食のプロデューサー」として地域商社的機能・商品企画開発を一層強化し、佐賀県のみならず九州全域にエリアを拡大する。

重点支援を受けた事業や商材

自社ブランド商品、百貨店向けの冷凍食品をはじめ、地域の特産品を販売するアンテナショップ「かねすえキッチン」を開設。冷凍食品を試作するキッチンや、料理を急速冷凍して真空パック詰めのできる設備が整っており、製造から出荷までの作業ができる。



【出典】かねすえキッチンホームページ
<https://www.kanesue-kitchen.com/about>

重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネスモデルの構築	地域の生産者、飲食店、流通などパートナーとのコラボレーションによる新たな冷凍食品レシピの開発やブランド展開、売り場づくり等を収益につなげ、かつ地域にも貢献できるビジネスモデルの構築が不十分。
知財戦略の構築及び取得、活用	商品・ブランド展開のための商標や意匠等の知財戦略が不十分。パートナーとのコラボレーションを進めるうえでの知財権の取り扱いを明確化することが必要。
ブランディング&マーケティング戦略	自社「かねすえ」ブランドや傘ブランドと今後展開予定のコラボ商品のブランドの位置づけの明確化など、ブランド戦略の構築が必要。ブランド戦略と連動した中身(味、触感など)と外見(パッケージや使い勝手など)の両面での企画・開発力の強化が必要。対象顧客や対象エリア、売り場に対するより深い理解と、それに基づく物流・販売施策の展開が必要。

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
ビジネスモデルの構築	<ul style="list-style-type: none"> 新たなビジネスモデルが明確になり、高付加価値商品の開発、売り場づくり、物流・配送システムの構築を進めることが可能となった。 アンテナショップのコンセプトと事業の成長戦略における位置づけ、具体的な店舗デザイン、商品の品揃え、運営等に関する助言により、タイムリーな新店オープンが実現した。 既存ブランドの整理と「じぶんレストラン」等の新ブランドの創造などを通じて、従来の冷凍食品事業から「冷凍料理」事業への進化の道筋をつけることができた。 	知財経営専門家 中小企業診断士
知財戦略の構築及び取得、活用	<ul style="list-style-type: none"> ブランド化の方針を策定して、「じぶんレストラン」「冷凍レストラン」等の商標を取得した。 検討した知財戦略を含む知的資産経営報告書を作成した。 	知財経営専門家 デザイン専門家
ブランディング&マーケティング戦略	<ul style="list-style-type: none"> アンテナショップを核とした「かねすえキッチン」のブランド・マーケティング戦略を策定した。 新ブランド「じぶんレストラン」シリーズの商品化が順調に進み、売上げに貢献しつつある。 	知財経営専門家 デザイン専門家 SNS活用専門家

支援チーム紹介

リーダー専門家:知財経営専門家 吉栖 康浩
 活用専門家:デザイン専門家、SNS活用専門家、中小企業診断士
 知財総合支援窓口担当者:佐賀県知財総合支援窓口 峠 直樹
 PO(プログラムオフィサー):喜多 克己